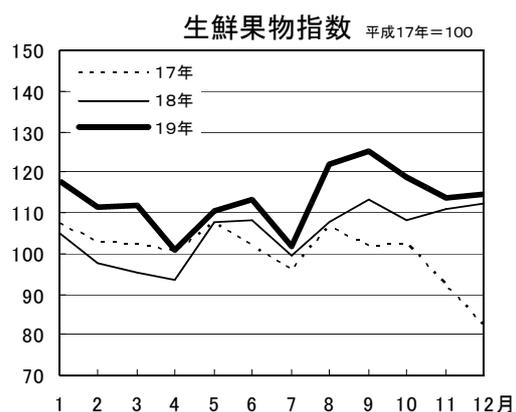
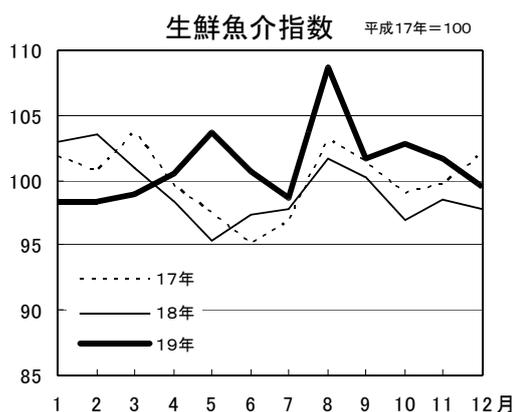
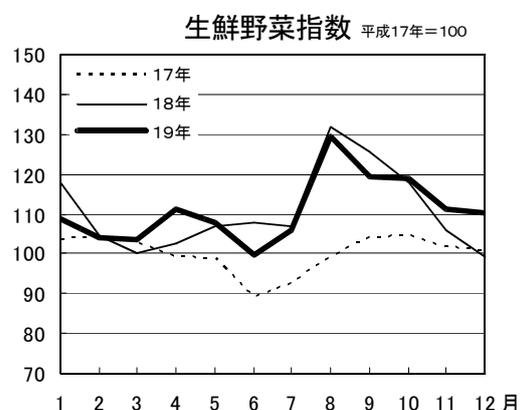
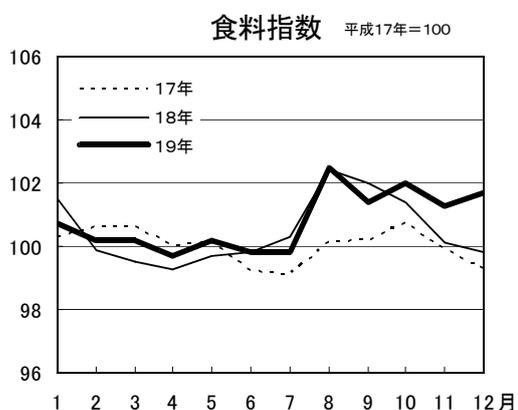


費目別指数の動き

(1)食料

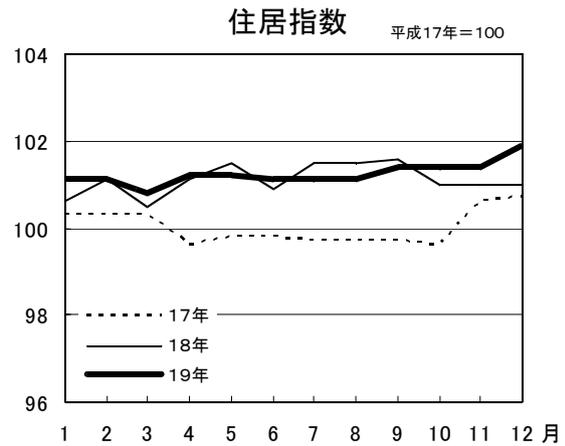
年平均指数は100.8となり、前年に比べ0.3%の上昇となった。生鮮食品についてみると、生鮮魚介が1.8%の上昇、生鮮野菜が0.2%の上昇、生鮮果物が8.1%の上昇となり、生鮮食品全体では2.7%の上昇となった。

生鮮食品以外では、油脂・調味料は0.2%の上昇、調理食品は0.6%の上昇、外食は2.3%の上昇となった。一方、穀類は1.9%の下落、肉類は1.3%の下落、乳卵類は1.2%の下落、菓子類は1.6%の下落、飲料は0.5%の下落、酒類は1.1%の下落となった。



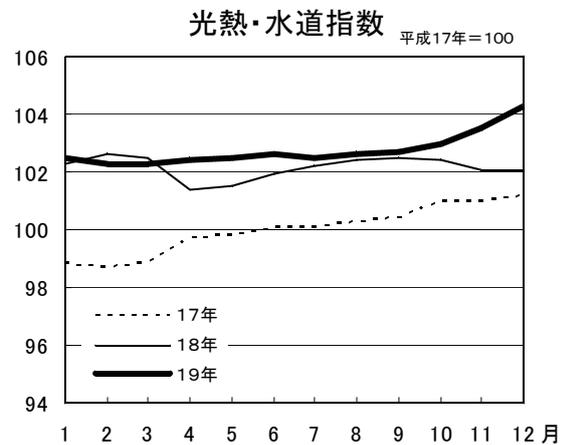
(2)住居

年平均指数は101.2となり、前年に比べ0.1%の上昇となった。内訳をみると、設備修繕・維持は2.9%の上昇となった。一方、家賃は0.2%の下落となった。



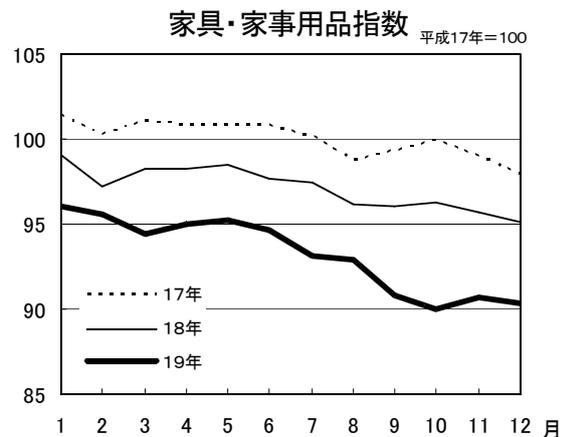
(3)光熱・水道

年平均指数は102.8となり、前年に比べ0.6%の上昇となった。内訳をみると、ガス代は1.5%の上昇、他の光熱は2.0%の上昇となった。なお、電気代、上下水道料は前年と同水準となった。



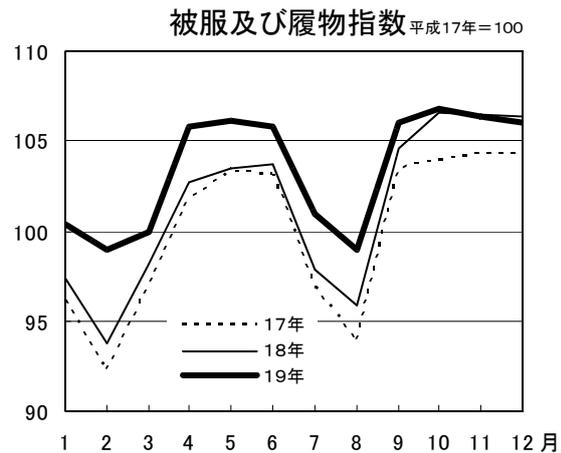
(4)家具・家事用品

年平均指数は93.2となり、前年に比べ4.0%の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は12.8%の下落、室内装備品は4.0%の下落、家事サービスは0.3%の下落となった。一方、寝具類は1.1%の上昇、家事雑貨は0.3%の上昇、家事用消耗品は0.5%の上昇となった。



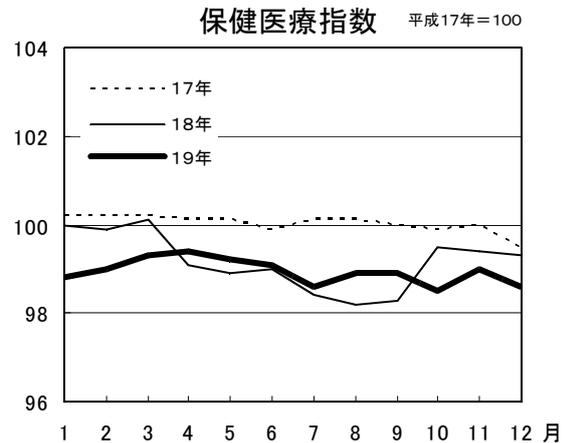
(5) 被服及び履物

年平均指数は103.5となり、前年に比べ2.1%の上昇となった。内訳をみると、衣料は2.5%の上昇、シャツ・セーター・下着類は1.2%の上昇、履物類は1.8%の上昇、他の被服類は2.5%の上昇、被服関連サービスは2.6%の上昇と、いずれも上昇となった。



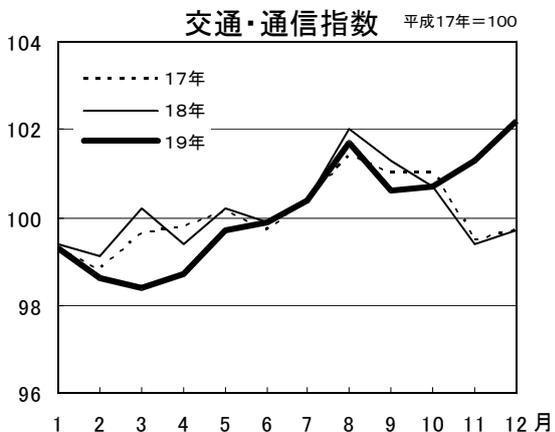
(6) 保健医療

年平均指数は98.9となり、前年に比べ0.3%の下落となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は1.8%の下落、保健医療用品・器具は1.8%の下落となった。一方、保健医療サービスは0.9%の上昇となった。



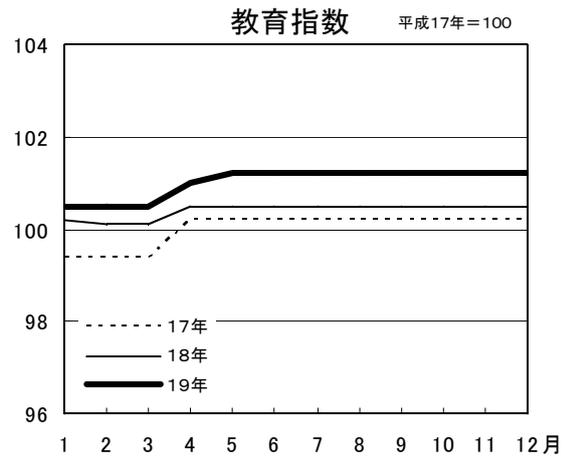
(7) 交通・通信

年平均指数は100.1となり、前年と同水準となった。内訳をみると、交通は1.1%の上昇、自動車等関係費は1.0%の上昇となった。一方、通信は2.2%の下落となった。



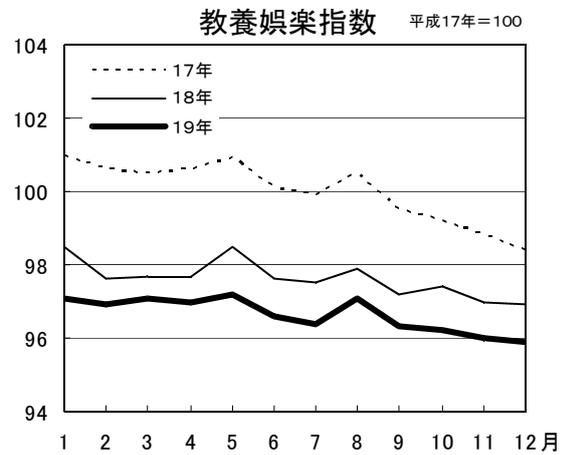
(8) 教育

年平均指数は101.0となり、前年に比べ0.6%の上昇となった。内訳をみると、授業料等は0.7%の上昇、教科書・学習参考教材は1.6%の上昇となった。一方、補習教育は0.1%の下落となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は96.7となり、前年に比べ0.9%の下落となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は19.1%の下落となった。一方、教養娯楽用品は0.3%の上昇、書籍・他の印刷物は0.3%の上昇、教養娯楽サービスは0.7%の上昇となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は101.2となり、前年に比べ0.4%の上昇となった。内訳をみると、身の回り用品は1.3%の上昇、たばこは4.3%の上昇、他の諸雑費は0.4%の上昇となった。一方、理美容サービスは0.5%の下落、理美容用品は1.3%の下落となった。

